



松 風

令和2年 1月 7日
第17号 校長 高橋正人

令和2年（2020年）のスタート

新年明けましておめでとうございます。

今年の冬休みは、暮れから正月にかけて穏やかな好天に恵まれ、たいへん過ごしやす正月となりました。保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、令和になって初めての清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新しい年、令和2年を迎えましたが、中学校では1年間の総まとめの時期でもあります。これからの3か月間は、1年間の学習のまとめを行うとともに、生徒一人一人が新たな夢や目標を持ち、その実現に向けて、さらに努力していけるように教育活動を進めてまいります。

3年生は、2か月後の3月11日（水）に卒業を迎えます。中学校に登校する日数は、わずか44日しかありません。残された中学校生活の日々を大切に過ごしてもらいたいと思っています。何事も締めくくり方が大切であり、「終わりよければ全てよし」などと言われます。中学校生活の締めくくりがよければ、卒業後の4月からの進路先での生活も充実したものになると思います。そして、義務教育の最後の3年間を過ごしたこの松林中学校に「誇りをもって」立派に巣立ってほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、本年も昨年同様、温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第66回 校内マラソン大会

冬季休業直前の12月24日（火）に「松林3大行事」の最後を飾る「校内マラソン大会」を開催しました。昨年に引き続き、今年もこの時季としてはポカポカと暖かな天候に恵まれ、絶好のマラソン日和となりました。

数年前までは市内の多くの中学校で冬の恒例行事として「校内マラソン大会や駅伝大会」が開催されていましたが、昨今の交通事情などから現在も開催しているのは本校を含めて3校のみとなりました。

35年ほど前は新湘南バイパスが建設中であり、大山街道の交通量も少なく、赤羽根中学校下の宝積寺付近までコースになっており、男女共に4.4kmの長丁場で行われていました。その後、コースと距離を変更しながらも、PTAと地域の方々のご理解とご協力をいただきながら、今年で66回目を数える本校の伝統的な行事の一つです。地域の方々からは「私も走った」などと言われ、親子3代に渡って行われている行事でもあります。

さらに、走った後には全校生徒570名と教職員が、地域の方からいただいた食材などを使って、PTAの方々が二日ばかりで準備して下さった豚汁をいただきながら、クラスの仲間と楽しい語らいの時間がとれました。

また、PTAの校外委員の皆様には、たいへんお忙しい中、コース上での監察員をお願いしました。ご協力に感謝申し上げます。

***** 各学年の上位入賞者は次のとおりです *****

◇1年生女子の部	◆1年生男子の部	◇2年生女子の部
1位：13'05"	1位：11'18"	1位：11'53"
2位：13'08"	2位：11'23"	2位：12'23"
3位：13'09"	3位：11'36"	3位：12'58"
◆2年生男子の部	◇3年生女子の部	◆3年生男子の部
1位：10'54"	1位：12'51"	1位：11'08"
2位：11'20"	2位：13'11"	2位：11'20"
3位：11'20"	3位：13'23"	3位：11'32"

マラソン大会での生徒たちの一番の楽しみは、走った後の「豚汁」です。その豚汁づくりには、たいへん多くのPTAの方々に、前日の食材や調味料等の買い出しから材料仕込み、当日の準備、片付けまでたいへんお世話になりました。多くの皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

地域の皆様方には当日の午前9時過ぎから午前中いっぱい生活道路を占領してしまい、また、車の迂回や徐行をお願いしたり多大なるご迷惑をおかけいたしました。心からお詫び申し上げますとともに、本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

◇令和3年度 修学旅行

令和3年度（現1年生）の修学旅行の業者選定委員会を、1年生のPTA代表の方にもご出席いただいて12月20日（金）に行ないました。近畿日本ツーリストと日本旅行、JTBの3社から企画書や見積書等の資料を提示してもらい、プレゼンをしていただきました。その結果、現1年生の修学旅行は、令和3年5月16日（日）から18日（火）までの2泊3日で、京都・奈良で実施し、取扱い業者は“JTB”に決定いたしました。

中学校では、様々な学習活動を通して友だちとの関わりを大切にし、お互いに助け合い、相手のよさに気づかせるよう心がけています。そのためには、子どもの健康が不可欠であり、家庭の受け皿がたいへん重要になります。子どもたちにとって、一番安心できる場所は家庭です。その家庭で保護者や家族から温かい愛情をシャワーのように浴びることで、子どもたちは心のエネルギーを満たします。心のエネルギーが満たされた子どもは、学校でも穏やかで意欲的になります。部活動や友だちとの関わりだけでなく、学習面にも前向きで積極的に取り組むことができます。さらに、自分を大切にするだけでなく、周りの人たちも大切にしようとするのです。そして、何よりも自信のある行動ができるのです。逆に、心のエネルギーが満たされない子どもは、登校時から元気がなく、すべてに自信や意欲が感じられません。さらに、何かあると他人のせいにしてみたり、友だちとのトラブルも起こしがちになってしまうものです。

新しい年がスタートしました。今年もわが子の健全な成長を願い、保護者として日々の子どもの関わりをぜひとも大切にしていきたいと願っています。